

**平成25年度
全国学力・学習状況調査
結果報告**

**平成25年12月
尼崎市教育委員会**

目 次

I	調査の概要	1
II	教科に関する調査	
	○小学校 6 年生	
	国語 A	3
	国語 B	4
	算数 A	5
	算数 B	6
	○中学校 3 年生	
	国語 A	7
	国語 B	8
	数学 A	9
	数学 B	10
III	質問紙調査	
	＜学校生活＞	11
	＜学習に対する関心・意欲・態度＞	11
	＜学習状況＞	12
	＜学習時間＞	13
	＜家庭生活＞	13
	＜読書＞	14
	＜基本的な生活習慣＞	14
	＜規範意識＞	15
	＜携帯電話・スマートフォン＞	15
	＜地域との関わり＞	16
	＜自尊感情＞	16
	＜将来の夢＞	16
IV	授業と学力	17
V	家庭学習と学力	20
VI	生活習慣と学力	21
VII	まとめと今後の取組について	23

I 調査の概要

(1) 調査目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

(2) 調査対象

- 小学校第6学年の全児童
- 中学校第3学年の全生徒

(3) 調査内容

① 教科に関する調査（国語、算数・数学）

主として「知識」に関する問題（A）	主として「活用」に関する問題（B）
・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・実生活において不可欠であり、常に活用できるようにになっていることが望ましい知識・技能 など	・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力 ・様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 など

② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語の勉強は好きですか、授業の内容はどの程度分かりますか、一日にテレビを見る時間、読書時間、勉強時間の状況 など

(4) 調査方法

悉皆調査

(5) 調査日

平成25年4月24日（水）

(6) 調査を実施した学校数・児童生徒数

<小学校調査>

	学校数	児童数
尼崎市	43 校	3,649 人
全国	20,418 校	1,108,272 人

<中学校調査>

	学校数	生徒数
尼崎市	19 校	3,227 人
全国	9,752 校	1,027,458 人

(7) 調査結果について

全国学力・学習状況調査は公立学校だけでなく国立学校・私立学校についても実施しているが、本調査結果における全国数値は公立学校を対象としたものである。

尼崎市と全国平均正答率

※平成19年度は全国学力・学習状況調査の調査開始年度

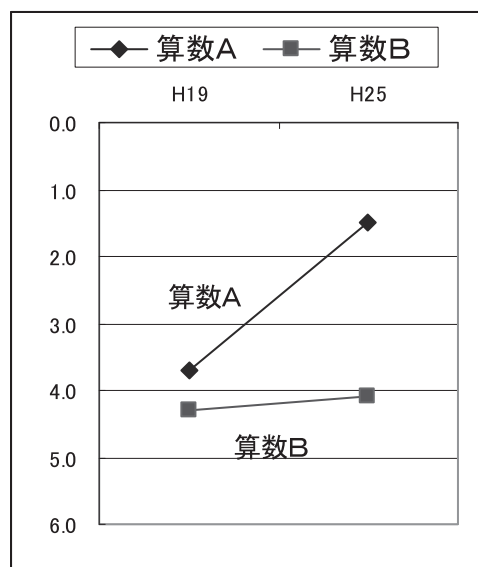
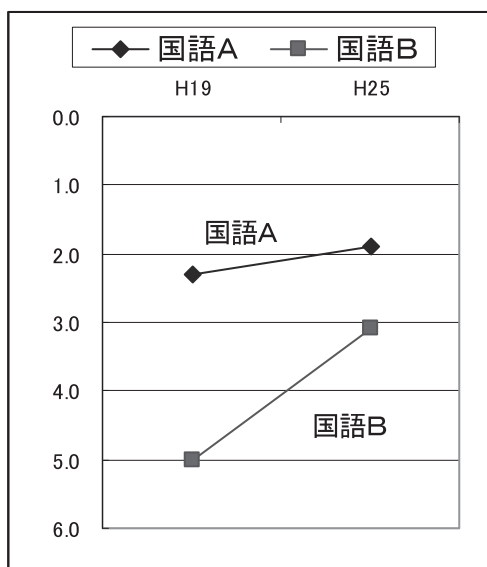
小学校6年生は、活用Bにおいて全国よりやや低い状況であるが、知識Aにおいて全国とほぼ同じ状況である。中学校3年生は、全国より低い状況であるが、その差は大幅に縮まってきている。

		国 語				算数・数学			
		A(知識)		B(活用)		A(知識)		B(活用)	
		H19	H25	H19	H25	H19	H25	H19	H25
小6	尼崎市	79.4	60.8	57.0	46.3	78.4	75.7	59.3	54.3
	全 国	81.7	62.7	62.0	49.4	82.1	77.2	63.6	58.4
中3	尼崎市	75.7	72.5	59.0	61.9	60.8	59.5	47.6	35.7
	全 国	81.6	76.4	72.0	67.4	71.9	63.7	60.6	41.5

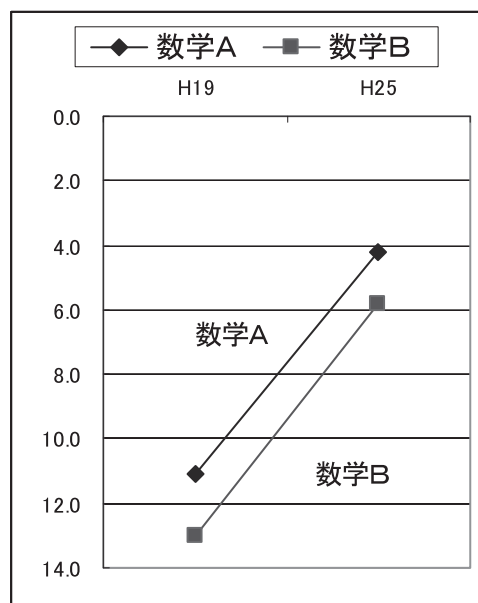
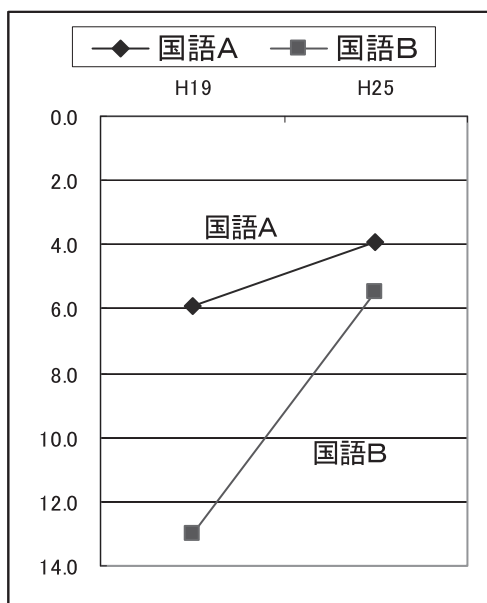
※数値は%を表す

平均正答率の全国差推移グラフ

<小学校>



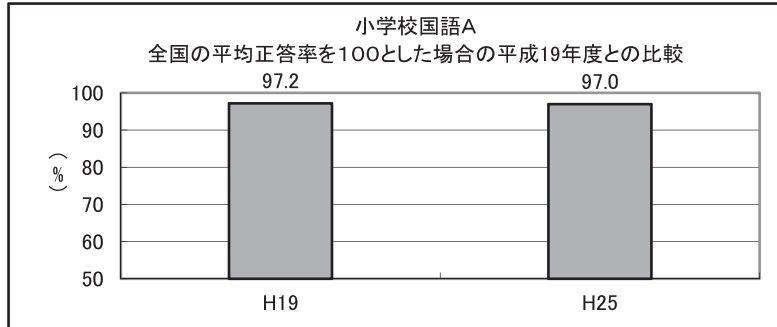
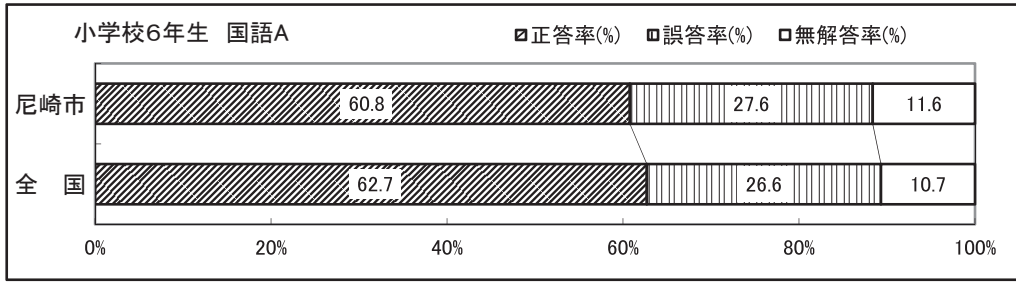
<中学校>



Ⅱ 教科に関する調査

小学校6年生 国語A(「知識」に関する問題)

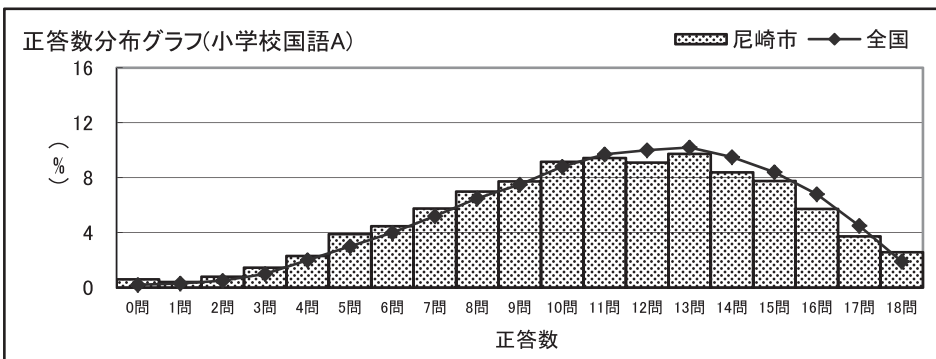
平均正答率



◆平均正答率は60.8%で、全国との差は1.9%であり、概ね全国レベルとなっている。

◆平均正答率の全国比でも、平成19年度からほぼ同じレベルを推移している。

正答数分布



【平均正答数】

ニ崎市:10.9 / 18

全国:11.3 / 18

◆全国とはほぼ同じ形状となっている。

学習指導要領の領域

「書くこと」について引き続き改善に向けた努力を要するが、「話すこと・聞くこと」について改善が見られる。

区分	平均正答率(%)				全国差との経年比較
	H19		H25		
	ニ崎市	全国	ニ崎市	全国	
話すこと・聞くこと	49.5	56.6	42.2	43.2	6.1
書くこと	83.2	85.3	49.8	53.0	-1.1
読むこと	64.0	67.3	57.0	60.1	0.2
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	85.5	86.8	60.9	62.6	-0.4

評価の観点

「書く能力」について引き続き改善に向けた努力を要するが、「話す・聞く能力」について改善が見られる。

区分	平均正答率(%)				全国差との経年比較
	H19		H25		
	ニ崎市	全国	ニ崎市	全国	
国語への関心・意欲・態度	70.3	74.7	39.6	44.9	-0.9
話す・聞く能力	49.5	56.6	42.2	43.2	6.1
書く能力	83.2	85.3	49.8	53.0	-1.1
読む能力	64.0	67.3	57.0	60.1	0.2
言語についての知識・理解・技能	85.5	86.8	60.9	62.6	-0.4

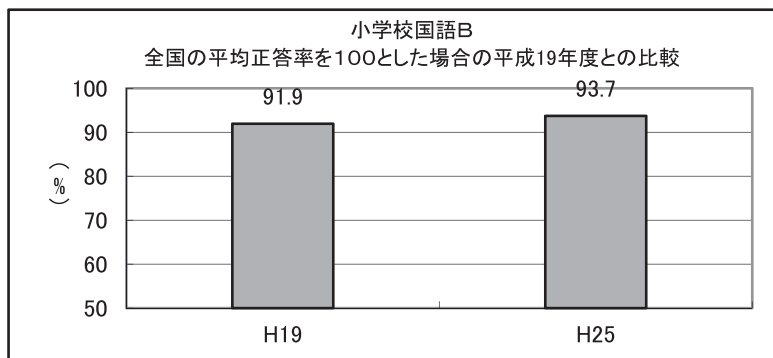
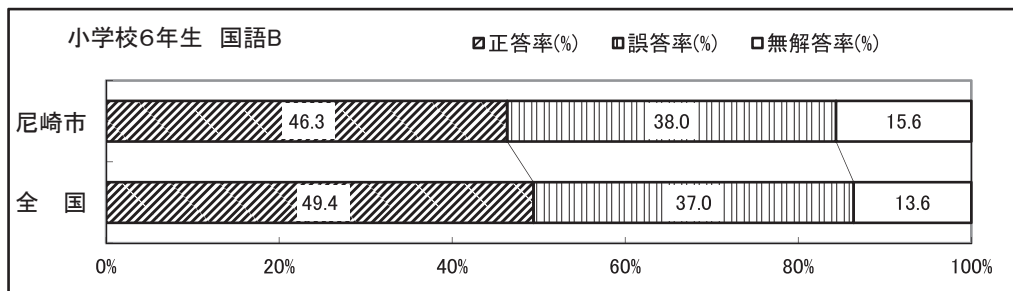
問題形式

「選択式」「短答式」どちらの問題についてもやや改善が見られる。

区分	平均正答率(%)				全国差との経年比較
	H19		H25		
	ニ崎市	全国	ニ崎市	全国	
選択式(いくつかの選択肢から選ぶ問題)	79.1	81.6	64.0	66.3	0.2
短答式(短い文や言葉で答える問題)	80.3	81.8	60.7	61.9	0.3
記述式(文章で記述する問題)	---	---	39.6	44.9	---

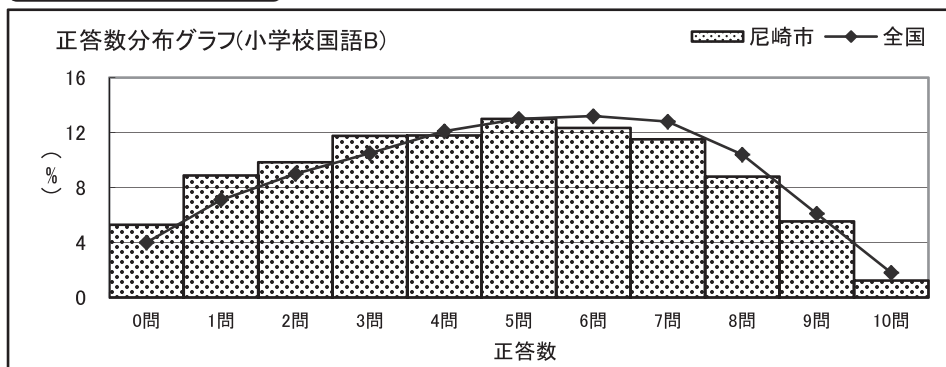
小学校6年生 国語B(「活用」に関する問題)

平均正答率



- ◆平均正答率は46.3%で、全国との差は3.1%である。
- ◆平均正答率の全国比は、平成19年度と比べると上昇傾向にある。

正答数分布



【平均正答数】
 尼崎市: 4.6 / 10
 全国: 4.9 / 10

- ◆全国とほぼ同じ形状となっているが3問以下の低位層がやや多くなっている。

学習指導要領の領域

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について引き続き改善に向けた努力を要するが、「読むこと」「書くこと」について改善が見られる。

区分	平均正答率(%)				全国差との経年比較
	H19		H25		
	尼崎市	全国	尼崎市	全国	
話すこと・聞くこと	68.3	70.9	61.4	64.8	-0.8
書くこと	54.4	61.7	39.9	43.8	3.4
読むこと	51.4	57.7	45.9	47.9	4.3
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	70.8	77.0	56.3	63.8	-1.3

評価の観点

「言語についての知識・理解・技能」について引き続き改善に向けた努力を要するが、「国語への関心・意欲・態度」「書く能力」「読む能力」について改善が見られる。

区分	平均正答率(%)				全国差との経年比較
	H19		H25		
	尼崎市	全国	尼崎市	全国	
国語への関心・意欲・態度	60.4	66.3	40.1	42.5	3.5
話す・聞く能力	68.3	70.9	61.4	64.8	-0.8
書く能力	54.4	61.7	39.9	43.8	3.4
読む能力	51.4	57.7	45.9	47.9	4.3
言語についての知識・理解・技能	70.8	77.0	56.3	63.8	-1.3

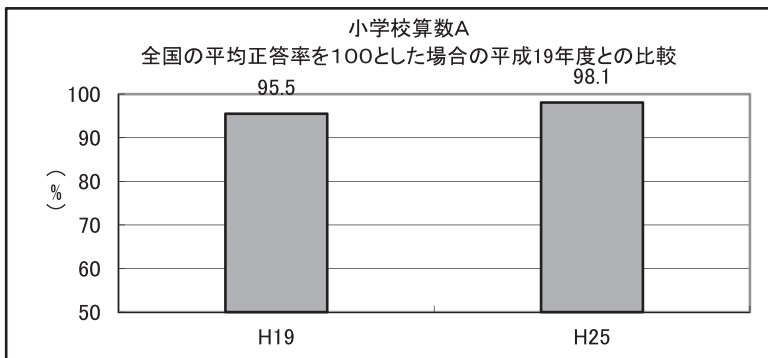
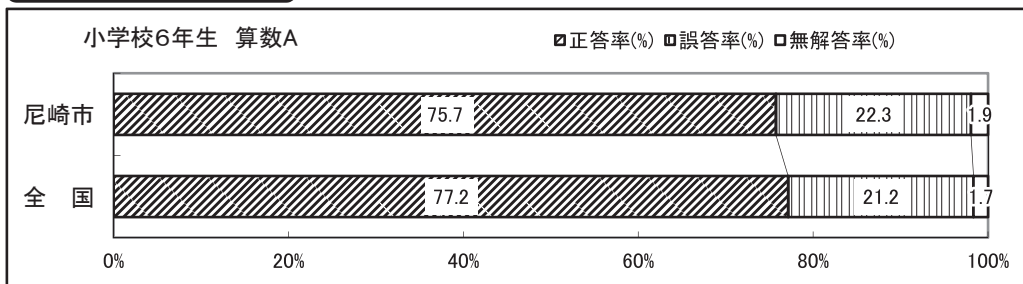
問題形式

「選択式」「短答式」どちらの問題についても改善があり、良い傾向が見られる。

区分	平均正答率(%)				全国差との経年比較
	H19		H25		
	尼崎市	全国	尼崎市	全国	
選択式(いくつかの選択肢から選ぶ問題)	58.5	62.8	57.0	59.7	1.6
短答式(短い文や言葉で答える問題)	57.2	62.4	42.4	45.9	1.7
記述式(文章で記述する問題)	---	---	40.1	42.5	---

小学校6年生 算数A(「知識」に関する問題)

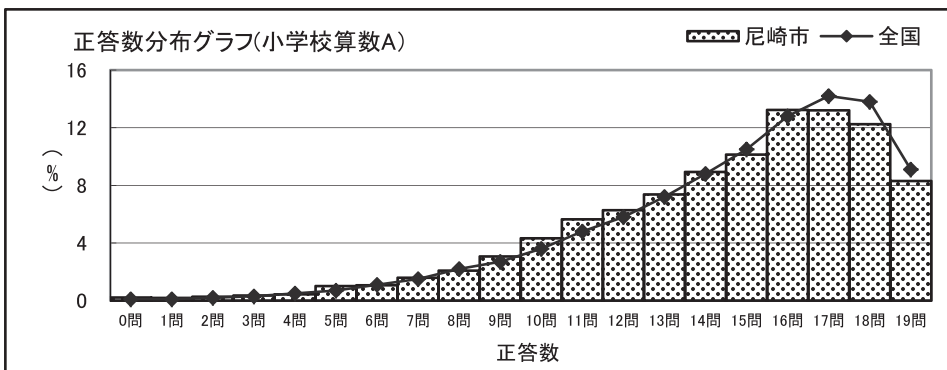
平均正答率



◆平均正答率は、75.7%で、全国との差は1.5%であり、概ね全国レベルとなっている。

◆平均正答率の全国比は、平成19年度と比べると上昇傾向にある。

正答数分布



【平均正答数】
ニ崎市: 14.4 / 19
全国: 14.7 / 19

◆全国とほぼ同じ形状となっている。

学習指導要領の領域

「量と測定」について引き続き改善に向けた努力を要するが、「数量関係」と「数と計算」について改善が見られる。

区分	平均正答率(%)				全国差との経年比較
	H19		H25		
	ニ崎市	全国	ニ崎市	全国	
数と計算	78.8	81.8	80.5	80.2	3.3
量と測定	86.0	85.3	66.1	68.3	-2.9
図形	81.9	83.7	68.9	72.5	-1.8
数量関係	65.0	77.8	81.0	83.4	10.4

評価の観点

「数量や図形についての知識・理解」について引き続き改善に向けた努力を要するが、「数量や図形についての技能」について改善が見られる。

区分	平均正答率(%)				全国差との経年比較
	H19		H25		
	ニ崎市	全国	ニ崎市	全国	
算数への関心・意欲・態度	---	---	---	---	---
数学的な考え方	---	---	---	---	---
数量や図形についての技能	78.2	85.2	87.0	86.2	7.8
数量や図形についての知識・理解	78.7	79.8	67.5	70.5	-1.9

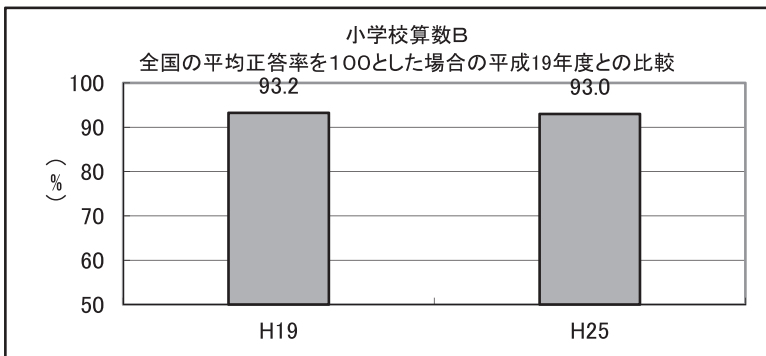
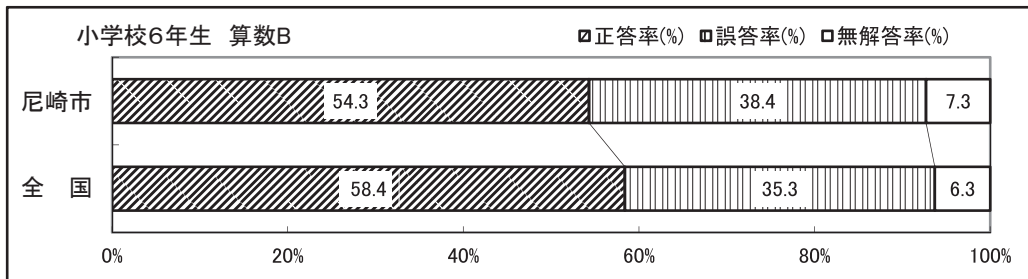
問題形式

「選択式」の問題について引き続き改善に向けた努力を要するが、「短答式」について改善が見られる。

区分	平均正答率(%)				全国差との経年比較
	H19		H25		
	ニ崎市	全国	ニ崎市	全国	
選択式(いくつかの選択肢から選ぶ問題)	74.1	75.9	64.7	68.2	-1.7
短答式(計算や立式を行う問題)	80.0	84.7	83.8	83.6	4.9
記述式(証明や理由を説明する問題)	---	---	---	---	---

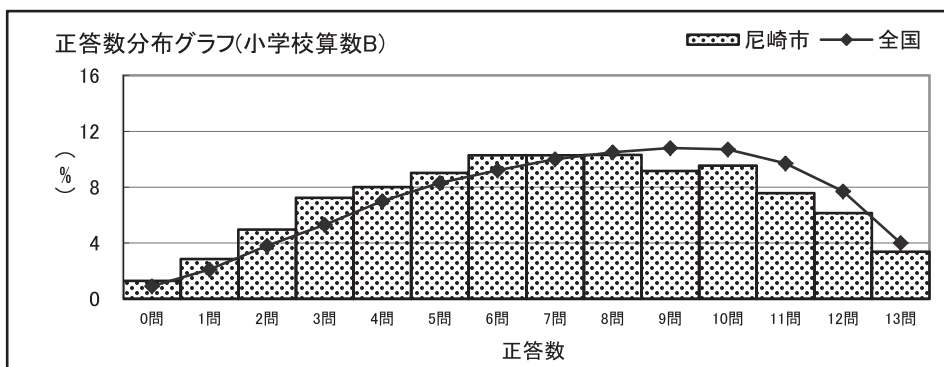
小学校6年生 算数B(「活用」に関する問題)

平均正答率



- ◆平均正答率は54.3%で、全国との差は4.1%である。
- ◆平均正答率の全国比でも、平成19年度からほぼ同じレベルを推移している。

正答数分布



- 【平均正答数】**
 ニ崎市: 7.1 / 13
 全国: 7.6 / 13
- ◆全国とほぼ同じ形状となっているが6問以下の低位層がやや多くなっている。

学習指導要領の領域

「数と計算」「図形」について改善が見られる。

区分	平均正答率(%)				全国差との経年比較
	H19		H25		
	ニ崎市	全国	ニ崎市	全国	
数と計算	52.5	60.9	43.3	48.3	3.4
量と測定	54.7	58.4	52.0	56.0	-0.3
図形	69.1	73.5	77.2	79.3	2.3
数量関係	61.5	66.4	50.3	54.9	0.3

評価の観点

「数量や図形についての知識・理解」について改善が見られる。

区分	平均正答率(%)				全国差との経年比較
	H19		H25		
	ニ崎市	全国	ニ崎市	全国	
算数への関心・意欲・態度	---	---	---	---	---
数学的な考え方	54.5	60.2	42.0	46.8	0.9
数量や図形についての技能	63.6	65.6	73.7	76.1	-0.4
数量や図形についての知識・理解	69.9	75.2	74.1	77.2	2.2

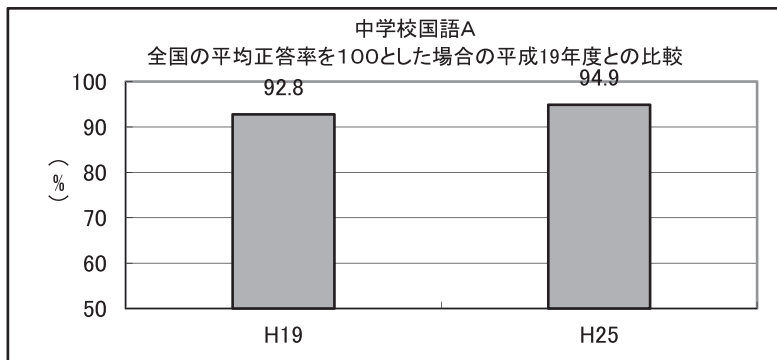
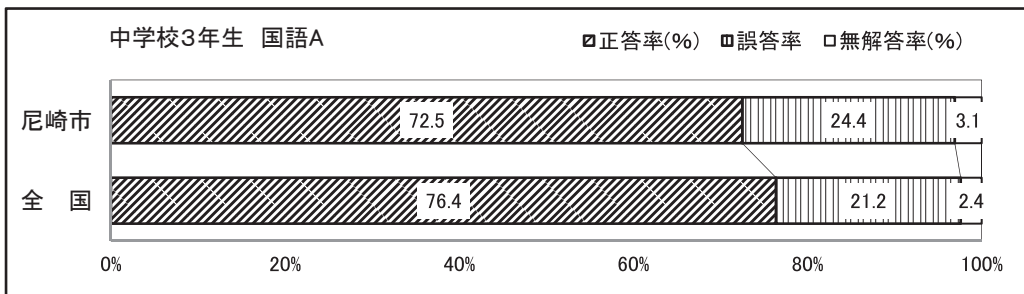
問題形式

「短答式」の問題について引き続き改善に向けた努力を要するが、「記述式」の問題について改善が見られる。

区分	平均正答率(%)				全国差との経年比較
	H19		H25		
	ニ崎市	全国	ニ崎市	全国	
選択式(いくつかの選択肢から選ぶ問題)	70.1	73.4	71.1	73.8	0.6
短答式(計算や立式を行う問題)	70.6	73.6	57.6	61.9	-1.3
記述式(証明や理由を説明する問題)	39.5	46.5	38.3	43.2	2.1

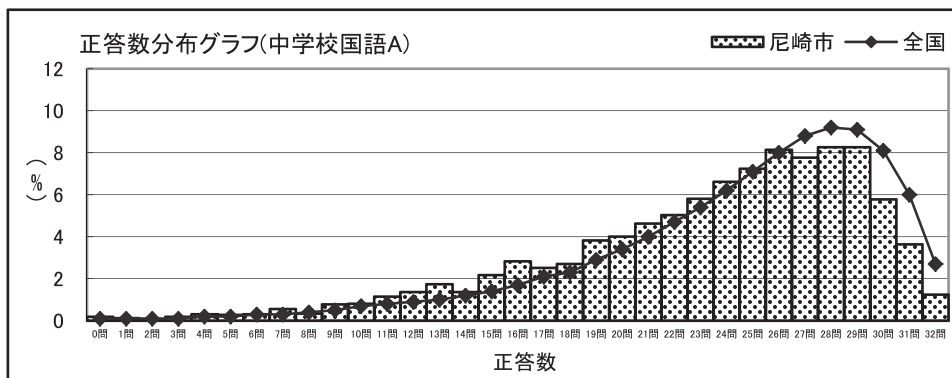
中学校3年生 国語A(「知識」に関する問題)

平均正答率



- ◆平均正答率は72.5%で、全国との差は3.9%である。
- ◆平均正答率の全国比は、平成19年度と比べると改善傾向にある。

正答数分布



- 【平均正答数】**
 ニ崎市: 23.2 / 32
 全国: 24.4 / 32
- ◆全国とほぼ同じ形状となっているが、27問以上の上位層が少なくなっている。

学習指導要領の領域

全ての区分について改善があり、良好な傾向が見られる。

区分	平均正答率(%)				全国差との経年比較
	H19		H25		
	ニ崎市	全国	ニ崎市	全国	
話すこと・聞くこと	84.6	90.1	73.3	77.6	1.2
書くこと	61.6	73.4	58.7	64.5	6.0
読むこと	73.5	80.6	75.9	80.0	3.0
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	75.9	80.3	74.2	77.5	1.1

評価の観点

全ての区分について改善があり、良好な傾向が見られる。

区分	平均正答率(%)				全国差との経年比較
	H19		H25		
	ニ崎市	全国	ニ崎市	全国	
国語への関心・意欲・態度	74.5	83.5	---	---	---
話す・聞く能力	84.6	90.1	73.3	77.6	1.2
書く能力	61.6	73.4	58.7	64.5	6.0
読む能力	73.5	80.6	75.9	80.0	3.0
言語についての知識・理解・技能	75.9	80.3	74.2	77.5	1.1

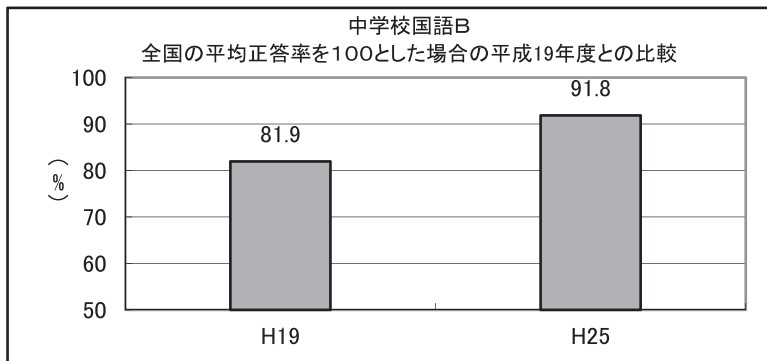
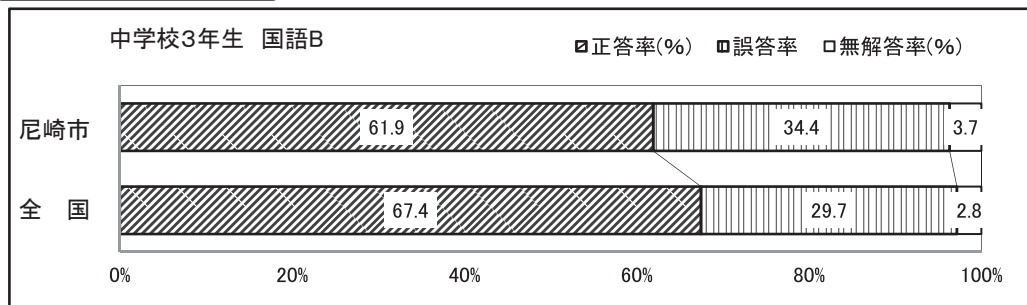
問題形式

「選択式」「短答式」どちらの問題についても改善があり、良好な傾向が見られる。

区分	平均正答率(%)				全国差との経年比較
	H19		H25		
	ニ崎市	全国	ニ崎市	全国	
選択式(いくつかの選択肢から選ぶ問題)	78.3	84.2	73.1	77.3	1.7
短答式(短い文や言葉で答える問題)	73.7	79.3	71.3	74.7	2.2
記述式(文章で記述する問題)	59.5	72.4	---	---	---

中学校3年生 国語B(「活用」に関する問題)

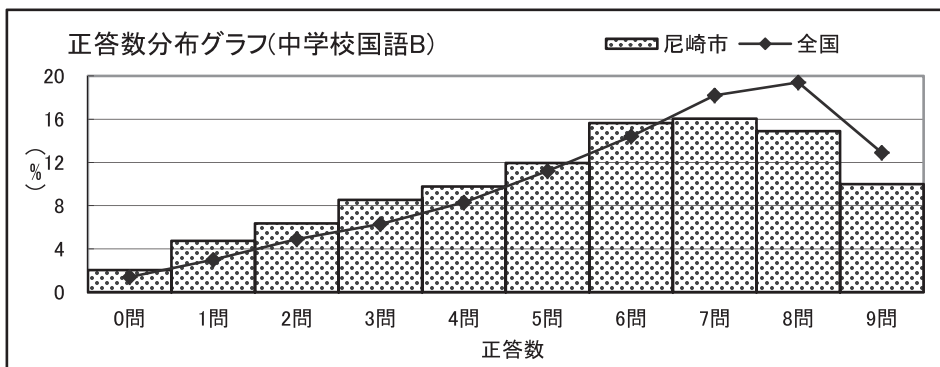
平均正答率



◆平均正答率は61.9%で、全国との差は5.5%である。

◆平均正答率の全国比は、平成19年度より大幅に改善があり、学力向上の取組の成果が見られる。

正答数分布



【平均正答数】

ニ崎市: 5.6 / 9

全国: 6.1 / 9

◆7問以上の上位層が少なくなっている。

学習指導要領の領域

「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について顕著な改善があり、「読むこと」についても改善があり、良好な傾向が見られる。

区分	平均正答率(%)				全国差との経年比較
	H19		H25		
	ニ崎市	全国	ニ崎市	全国	
話すこと・聞くこと	72.6	81.3	---	---	---
書くこと	47.5	64.4	58.0	62.7	12.2
読むこと	57.3	70.6	61.9	67.8	7.4
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	55.6	68.5	61.7	64.6	10.0

評価の観点

「国語への関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「言語についての知識・理解・技能」について顕著な改善があり、「読む能力」についても改善があり、良好な傾向が見られる。

区分	平均正答率(%)				全国差との経年比較
	H19		H25		
	ニ崎市	全国	ニ崎市	全国	
国語への関心・意欲・態度	47.5	64.4	58.0	62.7	12.2
話す・聞く能力	72.6	81.3	---	---	---
書く能力	47.5	64.4	58.0	62.7	12.2
読む能力	57.3	70.6	61.9	67.8	7.4
言語についての知識・理解・技能	55.6	68.5	61.7	64.6	10.0

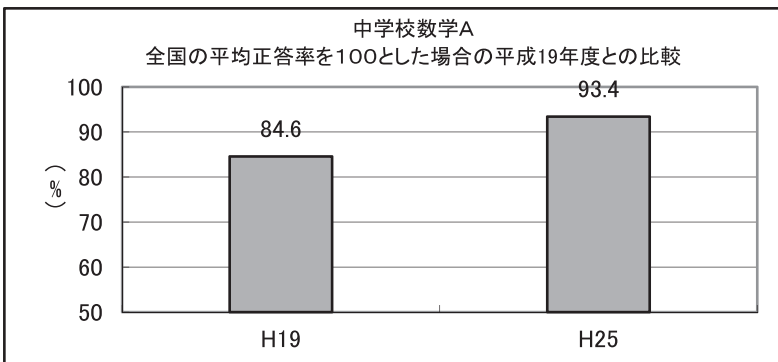
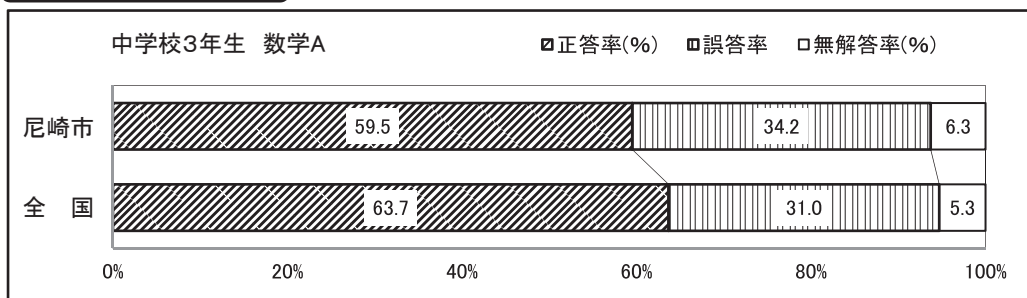
問題形式

「記述式」について顕著な改善があり、「選択式」「短答式」についても改善があり、良好な傾向が見られる。

区分	平均正答率(%)				全国差との経年比較
	H19		H25		
	ニ崎市	全国	ニ崎市	全国	
選択式(いくつかの選択肢から選ぶ問題)	69.4	79.3	62.1	68.2	3.8
短答式(短い文や言葉で答える問題)	49.3	63.5	73.0	77.5	9.7
記述式(文章で記述する問題)	47.5	64.4	58.0	62.7	12.2

中学校3年生 数学A(「知識」に関する問題)

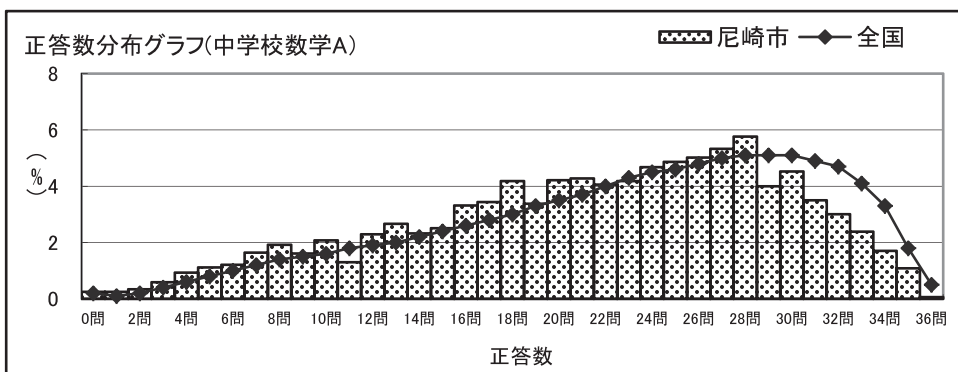
平均正答率



◆平均正答率は59.5%で、全国との差は4.2%である。

◆平均正答率の全国比は、平成19年度より大幅に改善があり、学力向上の取組の成果が見られる。

正答数分布



【平均正答数】

ニ崎市:21.4 / 36
全国:22.9 / 36

◆上位層が少なく下位層にも頂点が見られ不規則な形状となっている。

学習指導要領の領域

「数と式」「図形」について改善があり、良好な傾向が見られる。

区分	平均正答率(%)				全国差との経年比較
	H19		H25		
	ニ崎市	全国	ニ崎市	全国	
数と式	64.4	74.4	68.7	72.7	6.0
図形	65.1	75.5	59.8	64.6	5.6
関数	---	---	55.5	58.7	---
資料の活用	---	---	42.4	46.8	---
数量関係 [旧学習指導要領領域(H19)]	52.9	65.9	---	---	---

評価の観点

全ての区分について改善があり、良好な傾向が見られる。

区分	平均正答率(%)				全国差との経年比較
	H19		H25		
	ニ崎市	全国	ニ崎市	全国	
数学への関心・意欲・態度	---	---	---	---	---
数学的な見方や考え方	---	---	---	---	---
数学的な技能	58.9	70.6	64.5	67.9	8.3
数量や図形などについての知識・理解	62.0	72.8	55.0	59.8	6.0

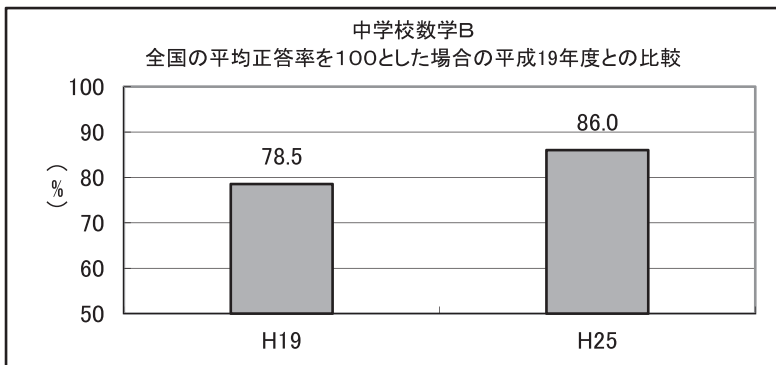
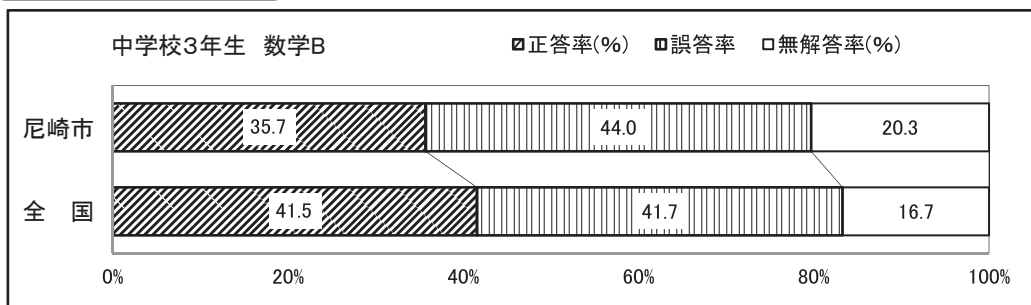
問題形式

「選択式」「短答式」どちらの問題についても改善が見られ、良好な傾向が見られる。

区分	平均正答率(%)				全国差との経年比較
	H19		H25		
	ニ崎市	全国	ニ崎市	全国	
選択式(いくつかの選択肢から選ぶ問題)	59.9	70.9	57.1	61.8	6.3
短答式(計算や立式を行う問題)	61.7	73.0	61.9	65.5	7.7
記述式(証明や理由を説明する問題)	---	---	---	---	---

中学校3年生 数学B(「活用」に関する問題)

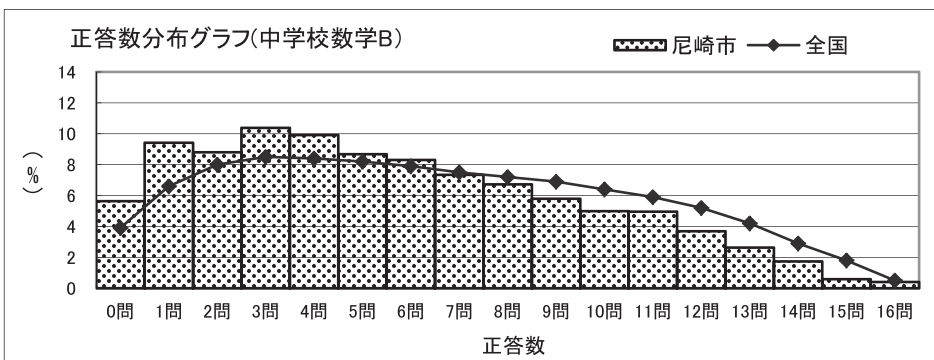
平均正答率



◆平均正答率は35.7%で、全国より5.8%下回っている。

◆平均正答率の全国比は、平成19年度より大幅に改善があり、学力向上の取組の成果が見られる。

正答数分布



【平均正答数】

ニ崎市: 5.7 / 16
全 国: 6.6 / 16

◆全国の形状と比較して、正答数4問以下の層が多く、左側に偏った形状となっている。

学習指導要領の領域

「図形」について顕著な改善があり、また「数と式」についても改善があり、良好な傾向が見られる。

区分	平均正答率(%)				全国差との経年比較
	H19		H25		
	ニ崎市	全国	ニ崎市	全国	
数と式	34.5	48.2	33.7	41.7	5.7
図形	35.8	53.1	40.5	44.8	13.0
関数	---	---	35.1	40.0	---
資料の活用	---	---	36.9	42.2	---
数量関係 [旧学習指導要領領域(H19)]	56.4	67.9	---	---	---

評価の観点

全ての区分について改善があり、良好な傾向が見られる。

区分	平均正答率(%)				全国差との経年比較
	H19		H25		
	ニ崎市	全国	ニ崎市	全国	
数学への関心・意欲・態度	---	---	---	---	---
数学的な見方や考え方	42.6	56.5	28.9	34.8	8.0
数学的な技能	57.4	66.5	46.4	53.1	2.4
数量や図形などについての知識・理解	82.2	93.0	65.9	70.7	6.0

問題形式

全ての区分について改善があり、良好な傾向が見られる。

区分	平均正答率(%)				全国差との経年比較
	H19		H25		
	ニ崎市	全国	ニ崎市	全国	
選択式(いくつかの選択肢から選ぶ問題)	56.6	63.9	37.5	43.3	1.5
短答式(計算や立式を行う問題)	61.0	74.2	50.5	55.8	7.9
記述式(証明や理由を説明する問題)	30.0	45.1	24.1	30.3	8.9

Ⅲ 質問紙調査

平成 25 年度調査は、きめ細かく把握・分析できるよう複数冊子化（共通項目を含む、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの 3 冊子を作成）して実施している。各冊子は、各都道府県においてできるだけ偏りなく実施されるよう学校単位で割り振られ、各学校では割り振られた 1 冊子のみ調査を実施している。以下は、共通項目の数値及び平成 19 年度にも同様の質問項目があったものの数値を分析している。

学校生活

質問事項	小6				中3			
	尼崎市		全国		尼崎市		全国	
	H19	H25	H19	H25	H19	H25	H19	H25
学校に行くのは楽しい		79.8		85.0		79.5		80.5
学校で友達に会うのは楽しい	96.1	95.1	96.3	96.0	94.9	94.6	94.5	94.5

※「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」を合計した割合

- 「学校に行くのは楽しい」「学校で友達に会うのは楽しい」と回答している小6・中3は、それぞれ約 80%、約 95%であり、学校について肯定的な回答の割合が高い。

学習に対する関心・意欲・態度

① 国語

質問事項	小6				中3			
	尼崎市		全国		尼崎市		全国	
	H19	H25	H19	H25	H19	H25	H19	H25
国語の勉強は好きだ	58.8	53.8	59.6	57.9	56.7	56.4	56.8	57.7
国語の勉強は大切だ	86.9	86.3	91.1	91.0	85.9	86.6	89.9	88.4
国語の授業の内容はよく分かる	72.5	73.1	78.0	79.9	61.3	68.6	65.4	71.9
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	81.6	81.1	87.6	87.2	79.1	76.3	84.8	81.4

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合計した割合

- 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答している割合は、H19 と比べて小6は変化がみられないが、中3は 7.3 ポイント改善されている。

質問事項	小6		中3	
	尼崎市	全国	尼崎市	全国
	H25	H25	H25	H25
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている	45.0	59.4	34.5	52.2
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫している	44.8	57.3	33.6	47.1
国語の授業で自分の考えを書くと、考えの理由が分かるように気を付けて書いている	58.4	68.9	51.1	60.4
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいる	67.2	73.3	57.8	64.5

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合計した割合

- 「自分の考えを話したり、書いたりしている」「発表するとき話の組み立てを工夫している」と回答している割合は、小6・中3ともに全国と比べて低い。今後、自分の考えを話させたり書かせたりする等、子どもの思考を表現させ、それを他者に分かりやすく伝達すること等を、国語の授業に取り入れていく必要がある。

② 算数・数学

質問事項	小6				中3			
	尼崎市		全国		尼崎市		全国	
	H19	H25	H19	H25	H19	H25	H19	H25
算数・数学の勉強は好きだ	60.2	59.8	65.0	66.2	42.5	53.9	51.0	55.5
算数・数学の勉強は大切だ	89.1	87.7	92.5	92.1	72.8	77.4	78.8	80.5
算数・数学の授業の内容はよく分かる	71.2	73.5	77.1	80.2	52.1	70.3	63.6	70.5
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたい	70.8	72.0	76.1	77.2				
数学ができるようになりたい					85.6	90.0	89.9	90.8
算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	85.8	84.4	90.1	88.8	63.8	64.0	69.2	69.6
算数・数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える	69.2	73.1	74.7	77.4	55.9	63.5	63.0	67.3
算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	52.8	57.6	62.3	66.2	23.8	32.2	30.7	37.7

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合計した割合

- 「諦めずにいろいろな方法を考える」「学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」と回答している割合は、小6・中3ともにH19と比べて改善されている。また中3においては、「算数・数学の授業の内容はよく分かる」と回答している割合は、H19と比べて18.2ポイント改善されている。

質問事項	小6		中3	
	尼崎市	全国	尼崎市	全国
	H25	H25	H25	H25
算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える	75.6	79.7	63.1	66.9
算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている	75.6	80.4	65.1	70.0
算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている	77.6	82.5	73.9	79.8

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合計した割合

- 「簡単な解き方を考える」「公式やきまりの意味を理解する」「分かりやすくノートを書く」と回答している割合は、小6・中3ともに全国と比べて低い。今後、様々な解法や公式・きまりの意味を考えさせること、自分にあったノートの書き方を工夫させる等、算数・数学の授業に取り入れていく必要がある。

学習状況

質問事項	小6		中3	
	尼崎市	全国	尼崎市	全国
	H25	H25	H25	H25
普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思う	46.3	56.6	19.0	31.4
普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う	77.0	81.5	73.3	78.2
普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う	73.8	79.3	44.4	64.7

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合計した割合

- 「グループで調べる活動をよく行う」「友達と話し合う活動をよく行う」と回答している割合は、小6・中3ともに全国と比べて低い。今後、普段の授業において、グループ学習を活用したり、話し合う活動を取り入れる等、授業形態における工夫が必要である。

学習時間

質問事項	小6				中3			
	尼崎市		全国		尼崎市		全国	
	H19	H25	H19	H25	H19	H25	H19	H25
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む) ※1時間以下と答えた割合	45.1	39.9	42.1	36.7	48.4	45.1	34.8	31.3
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む) ※2時間以上と答えた割合	24.0	23.9	23.0	25.2	19.1	21.9	36.8	40.6

○平日の学習時間については、H19 と比べ小6・中3ともに改善されているが、中3の土日の学習時間で2時間以上と回答した者の割合がH19・H25ともに全国の半分程度であることから、今後、土日の学習を充実させていく必要がある。

質問事項	小6				中3			
	尼崎市		全国		尼崎市		全国	
	H19	H25	H19	H25	H19	H25	H19	H25
家で、学校の宿題をしている	95.0	95.4	94.7	96.4	65.1	84.1	80.2	86.8
家で、学校の授業の予習をしている	27.4	30.5	32.9	41.3	14.2	22.3	29.5	33.5
家で、学校の授業の復習をしている	29.0	36.3	40.1	51.4	20.8	33.2	39.5	48.6
家で、自分で計画を立てて勉強をしている		46.6		58.9		38.3		44.5

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合計した割合

○小6においては復習が大きく改善されており、中3においては、宿題・予習・復習いずれにおいても改善されている。

質問事項	小6				中3			
	尼崎市		全国		尼崎市		全国	
	H19	H25	H19	H25	H19	H25	H19	H25
学習塾(家庭教師含む)で勉強をしていますか ※学習塾に通っていないと回答した割合	53.0	48.2	55.1	50.3	42.7	39.9	40.2	39.6

○全国的にも学習塾へ通っている児童生徒の割合が少し増加する傾向が見られるが、尼崎市においても同様の傾向が表れている。

家庭生活

質問事項	小6				中3			
	尼崎市		全国		尼崎市		全国	
	H19	H25	H19	H25	H19	H25	H19	H25
家の人(兄弟姉妹除く)と普段(月～金曜日)、夕食を一緒に食べる	85.6	87.7	87.8	89.0	77.2	79.0	80.3	82.8
家の人(兄弟姉妹除く)と学校での出来事について話をする	67.8	73.3	68.4	76.5	57.5	67.8	57.8	66.6
家の手伝いをしていますか	76.5	76.6	78.4	80.5	61.7	62.6	63.3	64.5

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合計した割合

○家庭生活に関する質問項目はH19 と比べて全て改善傾向にある。特に中3においては、「家の人と学校での出来事について話をする」と回答している割合は全国より高い。

読書

質問事項	小6				中3			
	尼崎市		全国		尼崎市		全国	
	H19	H25	H19	H25	H19	H25	H19	H25
読書は好きだ ※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合計した割合	67.1	69.1	71.3	72.1	58.2	55.8	67.9	70.1
家や図書館で、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌除く) ※30分以上と答えた割合	34.8	30.6	39.2	36.6	20.0	18.9	29.7	29.5
本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館にどれくらい行きますか(教科書や参考書、漫画や雑誌除く) ※週1～3回以上と答えた割合		12.7		20.5		5.2		9.2

○中3において、「読書は好き」と回答している生徒の割合が、全国と比べ差がある。

基本的な生活習慣

質問事項	小6				中3			
	尼崎市		全国		尼崎市		全国	
	H19	H25	H19	H25	H19	H25	H19	H25
朝食を毎日食べている	92.3	94.7	95.2	96.3	86.4	90.8	91.6	93.8
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	63.3	71.2	71.9	78.9	63.3	72.3	66.9	74.3
毎日、同じくらいの時刻に起きている	85.0	87.7	88.5	90.9	87.2	92.8	88.9	92.3

※「している」「どちらかといえば、している」を合計した割合

○基本的な生活習慣に関する質問項目はH19と比べて全て改善されており、家庭の協力のおかげで規則正しい生活習慣が身につけてきている。

質問事項	小6				中3			
	尼崎市		全国		尼崎市		全国	
	H19	H25	H19	H25	H19	H25	H19	H25
普段(月～金曜日)、何時ごろに起きますか ※午前7時より前に起きると答えた割合	50.5	59.4	74.5	80.0	44.0	52.4	63.9	71.2
普段(月～金曜日)、何時ごろに寝ますか ※午後11時までに寝ると答えた割合	71.4	75.3	82.5	85.2	25.7	29.7	29.8	33.9
普段(月～金曜日)、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか ※8時間以上の睡眠をとると答えた割合	68.6	69.3	73.2	74.5	27.9	25.2	23.4	23.9

○起床時刻・就寝時刻ともにH19と比べると改善されているものの、全国との差が大きく、早寝・早起きについては、今後とも取り組む必要がある。

質問事項	小6				中3			
	尼崎市		全国		尼崎市		全国	
	H19	H25	H19	H25	H19	H25	H19	H25
普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(テレビゲーム除く) ※2時間以内と回答した割合	35.5	33.9	39.9	37.4	30.9	40.1	38.8	44.4
普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム含む)を読みますか ※2時間以内と回答した割合	75.6	68.0	79.9	71.7	69.9	68.1	76.7	72.4

○小6において、H19に比べて平日にゲーム等をする割合が増加している。

○中3において、H19と比べて平日にテレビ等を見る割合が減少し改善されている。

質問事項		土曜日の午前は、何をして過ごすことが多いですか 土曜日の午後は、何をして過ごすことが多いですか			
学年	回答項目	土曜日の午前		土曜日の午後	
		尼崎市	全国	尼崎市	全国
		H25	H25	H25	H25
小6	1.学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	4.1	3.4	7.5	6.0
	2.習い事やスポーツ、地域の活動に参加している	22.1	26.8	24.5	25.0
	3.家で勉強や読書をしている	15.1	16.8	5.3	7.4
	4.家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたりしている	22.4	22.0	17.7	18.6
	5.家族と過ごしている	16.2	16.0	13.6	15.2
	6.友達と遊んでいる	12.5	8.4	26.5	23.3
	7.選択肢1～6以外	7.1	6.2	4.5	4.2
中3	1.学校の部活動に参加している	52.8	65.2	27.4	21.5
	2.学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	1.0	0.8	5.8	7.9
	3.習い事やスポーツ、地域の活動に参加している	8.3	6.2	9.0	8.7
	4.家で勉強や読書をしている	3.9	4.5	4.0	7.9
	5.家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたりしている	13.9	10.2	17.7	21.3
	6.家族と過ごしている	5.7	3.9	6.2	7.2
	7.友達と遊んでいる	4.1	2.5	25.0	19.8
	8.選択肢1～7以外	9.4	6.2	3.8	4.8

○小6は土曜の午前では「家でテレビ等を見ている」、午後では「友達と遊んでいる」と回答している割合が最も高い。

○中3は土曜の午前・午後ともに「学校での部活動に参加している」と回答している割合が最も高い。

規範意識

質問事項	小6				中3			
	尼崎市		全国		尼崎市		全国	
	H19	H25	H19	H25	H19	H25	H19	H25
学校のきまりを守っている	80.2	85.1	86.2	90.6	81.8	92.9	85.7	92.5
人の気持ちが分かる人間になりたいと思う	89.3	88.8	91.0	93.0	94.3	94.2	94.2	94.2
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	93.4	93.6	94.7	95.9	93.4	93.5	93.5	93.5
人の役に立つ人間になりたいと思う	90.5	90.0	91.9	92.4	87.5	92.4	89.6	93.3

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合計した割合

○「学校のきまりを守っている」と回答している割合は、H19 と比べ、小6・中3ともに増加しており、特に中3においては全国を上回っている。

○「人の役に立つ人間になりたい」と回答している割合は、H19 と比べ、小6は変化が見られないが、中3は増加している。

携帯電話・スマートフォン

質問事項	小6		中3	
	尼崎市	全国	尼崎市	全国
	H25	H25	H25	H25
携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか ※きちんと守っている、だいたい守っている	44.8	39.8	57.2	47.6
携帯電話やスマートフォンを持っていない	46.5	53.9	20.6	35.3

○尼崎は全国と比べ、携帯電話・スマートフォンの所持率が高い。今後、携帯電話・スマートフォンの必要性や使用におけるルールなど充分に考慮する必要がある。

地域との関わり

質問事項	小6				中3			
	尼崎市		全国		尼崎市		全国	
	H19	H25	H19	H25	H19	H25	H19	H25
今住んでいる地域の行事に参加している	35.7	40.7	62.0	63.9	14.8	21.0	37.5	41.6
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある		47.5		57.4		44.2		51.8
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある		30.9		38.6		19.7		26.8

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合計した割合

○地域行事の参加については、全国と比べ低い割合であるが、小6・中3ともに増加傾向にある。

自尊感情

質問事項	小6				中3			
	尼崎		全国		尼崎		全国	
	H19	H25	H19	H25	H19	H25	H19	H25
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある	91.3	92.0	93.1	94.3	90.2	91.9	92.0	93.7
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している	68.4	68.4	72.3	75.0	57.2	62.7	62.0	66.8
自分には、よいところがあると思う	67.3	71.3	71.5	75.7	55.3	62.4	60.5	66.4

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合計した割合

○小6は、「自分には、よいところがある」と回答している割合が増加している。

○中3は、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」「自分にはよいところがある」と回答している割合が増加している。

将来の夢

質問事項	小6				中3			
	尼崎市		全国		尼崎市		全国	
	H19	H25	H19	H25	H19	H25	H19	H25
将来の夢や目標を持っている	83.5	86.5	83.7	87.7	66.5	72.3	70.7	73.5

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合計した割合

○「将来の夢や目標を持っている」と回答している割合は、H19 と比べ、小6・中3ともに若干高まっている。

IV 授業と学力

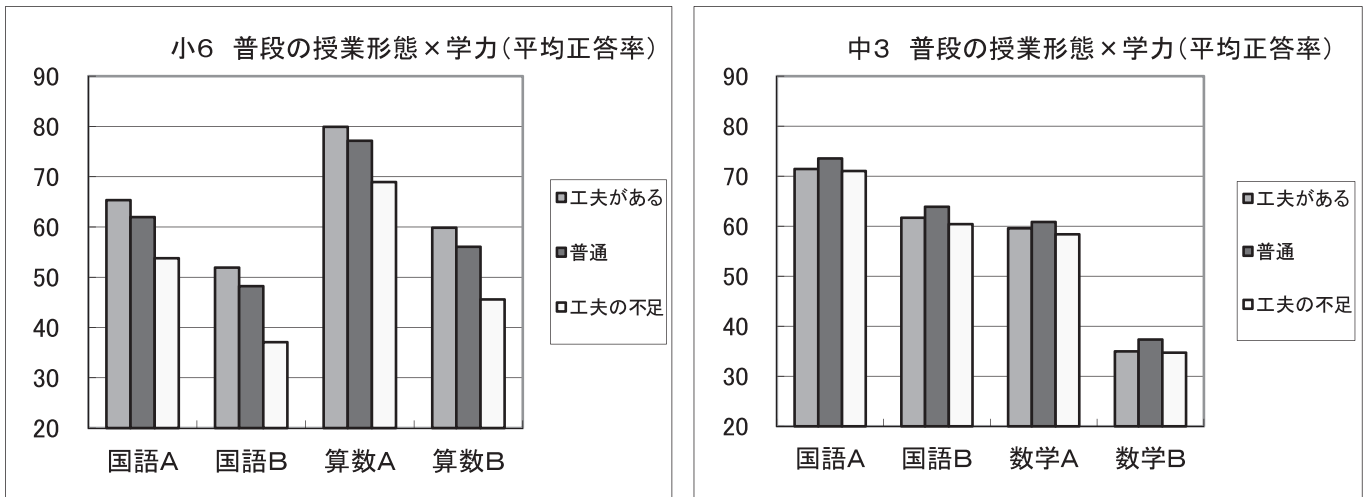
* ここでいう学力とは、総体としての「生きる力」等の学力を意味するものではなく、本調査で測定された知識や技能等の能力の一部を示している。

活用型の学力を身につけさせるためには、より一層の授業改善が求められています。

<説明>

- 1 「普段の授業形態」が、国語や算数・数学の正答率に影響しているかを調べたのが、[グラフ1]である。これを見ると、小6においては、いずれにおいても工夫の有無により10点以上の正答率に差が見られるものの、中3においては、ほとんど差は見られない。これは、一般的に小学校においては担任の教師が一人で授業を行う率が高く、中学校においては教科担任制をとっているため、差が表れなかったのではないかと考えられる。
- 2 「国語の授業での工夫」と正答率を調べたのが、[グラフ2]である。これを見ると、工夫の有無により小6・中3ともに、国語において、10点以上正答率に差が見られる。また、「算数・数学の授業での工夫」と正答率を調べたのが[グラフ3]であるが、国語と同様、工夫の有無により、小6・中3ともに算数・数学において10点以上正答率に差がある。なかでも、A（知識）とB（活用）を比べてみると、その差はB（活用）において、より顕著に表れている。
- 3 今後の授業においては、国語においては「話し合ったり、書いたり」「発表の仕方を工夫」「理由を考える」などを、算数・数学においても「いろいろな方法を考える」「公式などのわけを理解する」「考え方をノートに書く」などを取り入れた授業の工夫改善が必要である。また、それら授業における工夫や改善を行っている教師そのものの姿勢が、その教科を好きにさせて、学力を身につけさせている面もあるのではないだろうか。

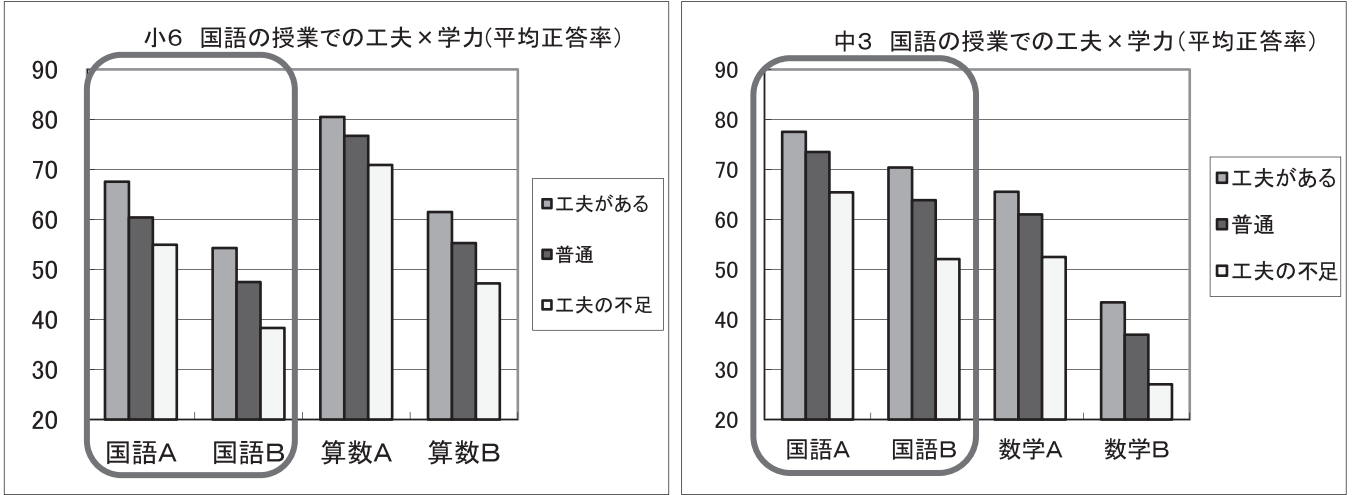
[グラフ1]



※「普段の授業での工夫」指標は、次の3つの質問事項の得点(当てはまる=4点、どちらかといえば当てはまる=3点、どちらかといえば当てはまらない=2点、当てはまらない=1点)の合計である。普段の授業での工夫「工夫がある」「普通」「工夫の不足」は、その合計得点を3分の1になるように分割したものである。

質問項目
普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思う
普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う
普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う

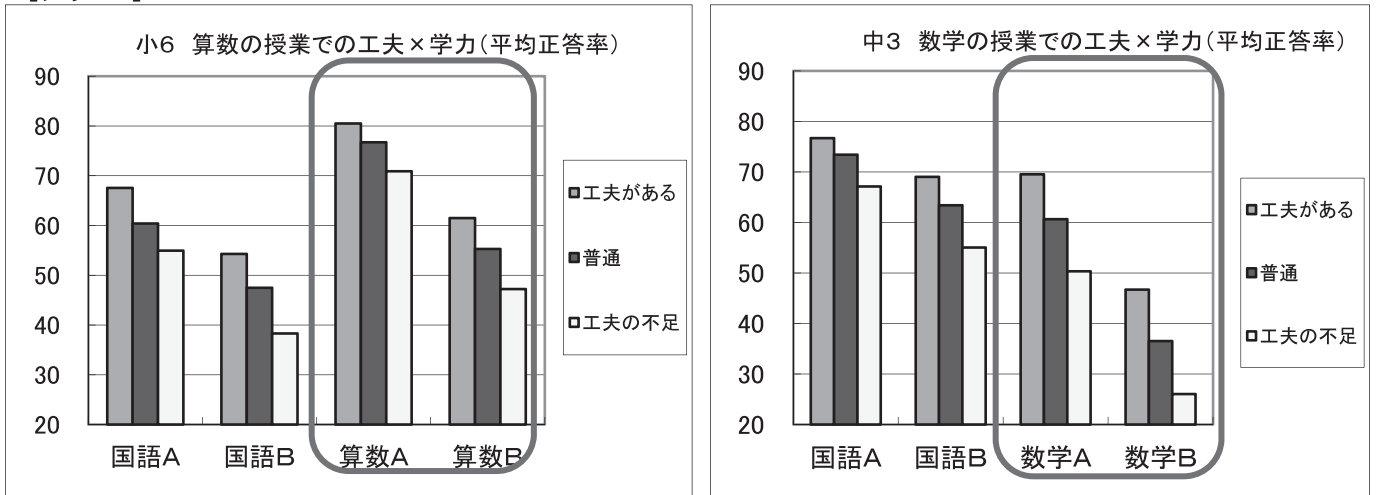
[グラフ2]



※「国語の授業での工夫」指標は、次の4つの質問事項の得点(当てはまる=4点、どちらかといえば当てはまる=3点、どちらかといえば当てはまらない=2点、当てはまらない=1点)の合計である。
 国語の授業での工夫「工夫がある」「普通」「工夫の不足」は、その合計得点を3分の1になるように分割したものである。

質問項目
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫している
国語の授業で自分の考えを書くと、考えの理由が分かるように気を付けて書いている
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいる

[グラフ3]



※「算数・数学の授業での工夫」指標は、次の4つの質問事項の得点(当てはまる=4点、どちらかといえば当てはまる=3点、どちらかといえば当てはまらない=2点、当てはまらない=1点)の合計である。
 算数・数学の授業での工夫「工夫がある」「普通」「工夫の不足」は、その合計得点を3分の1になるように分割したものである。

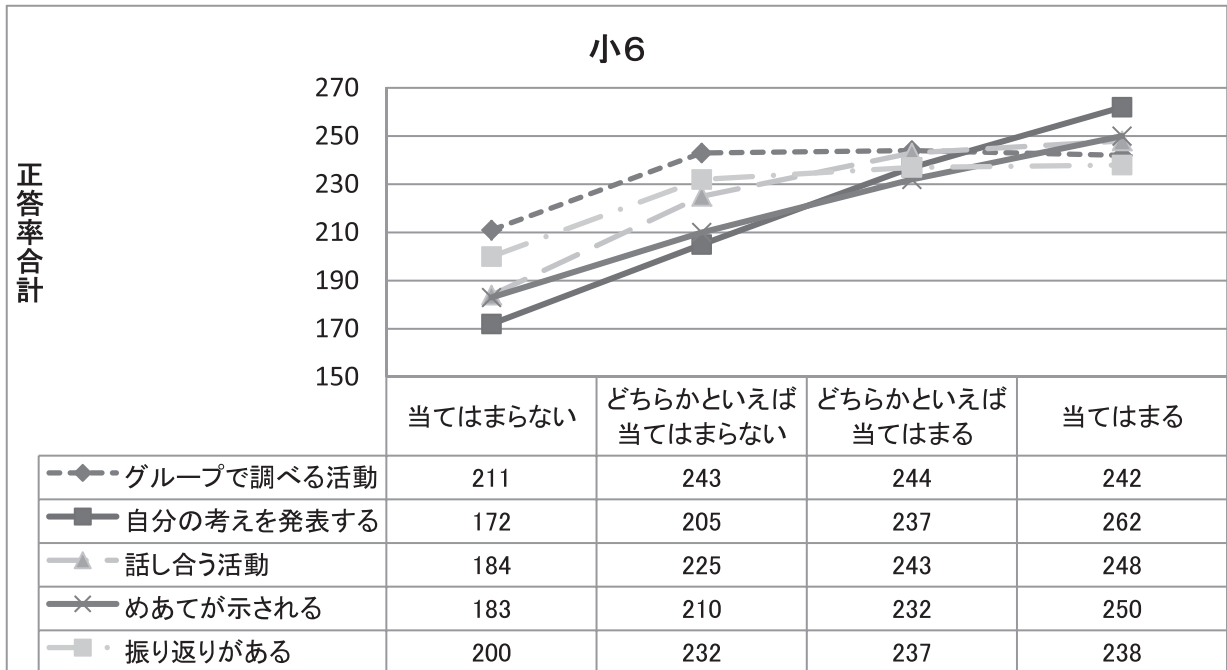
質問項目
算数・数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える
算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える
算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている
算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている

◇授業と学力について、授業形式による学力の違いをしてみる。[グラフ4・グラフ5参照]

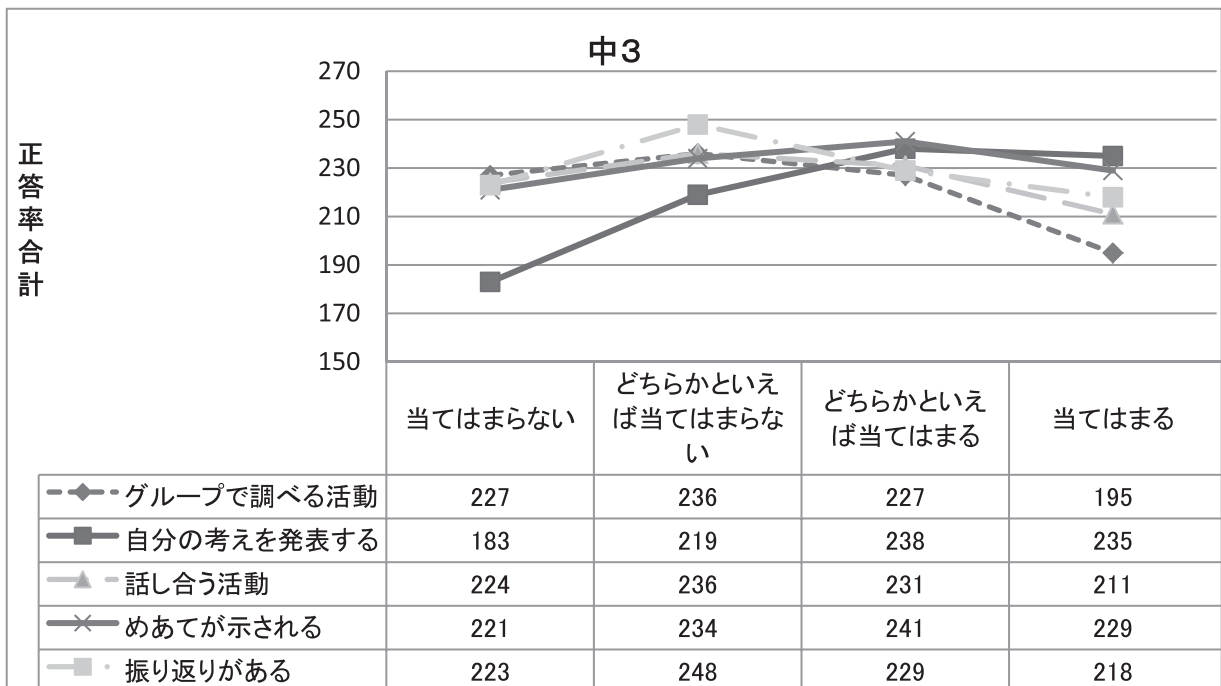
<説明>

- 1 [グラフ4]を見ると、小学校は「当てはまる」と回答している児童ほど、学力が高い傾向にある。特に、「自分の考えを発表する」「めあてが示される」では右肩上がりのグラフになっている。その他は、もう少し緩やかか、「当てはまらない」と回答した児童の学力が特に低い傾向にある。
- 2 [グラフ5]を見ると、中学校では「当てはまる」に該当する項目で学力が低い場合もあるが、「自分の考えを発表する」や「めあてが示される」において小学校ほど明らかな傾向が現れていないが、どちらかといえば右肩上がりの傾向が見られる。

[グラフ4]



[グラフ5]



V 家庭学習と学力

宿題や予習・復習など、家庭での学習は学力との間に強い関係がある。
なかでも、宿題をするかどうかは、大きく影響しているため、まずは宿題をきちんとやりとげる習慣をつけることが大切です。

<説明>

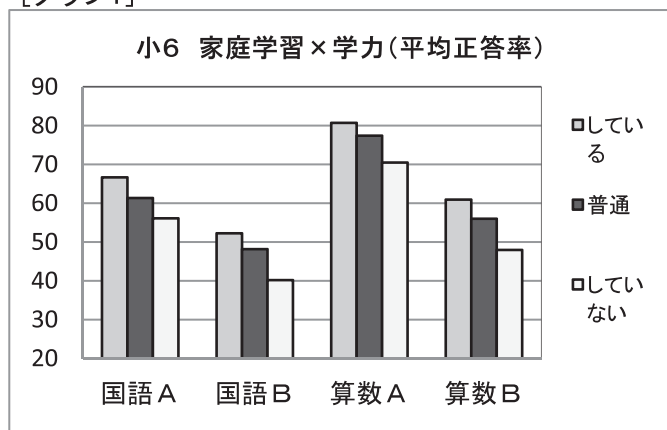
- 1 尼崎市の児童生徒の家庭での学習習慣を全国と比較して見てみる。[表1参照]
宿題に関する質問を除くと、若干の差があり、特に、小中学校ともに、復習がなされていない傾向がある。しかし、これまでの学力向上の取組においても、宿題など家庭での学習習慣の定着の重要性を訴えてきたことが定着していると思われ、平成19年度との比較では小中学校とも改善が見られる。
- 2 家庭での学習習慣の定着と学力は、明らかに強い関係がある。[グラフ1、グラフ2参照]
特に、国語B及び算数・数学Bなど、いわゆる活用型の学力を身につけるためには、家庭での学習習慣を定着させていく必要があると考えられる。
- 3 これまで、宿題を出すなどの取組を進めてきているところであり、[表1]でもわかるように宿題をしていない割合は少ない（小6で4%、中3で16%）が、宿題をするかしないかで、学力に大きく差がでることが明らかになっている。[表2参照]
宿題をすることをさらに定着させるとともに、今後は予習や復習の仕方など具体的な内容や方法を児童生徒や保護者に明らかにしながら進めていくことが重要である。

[表1]

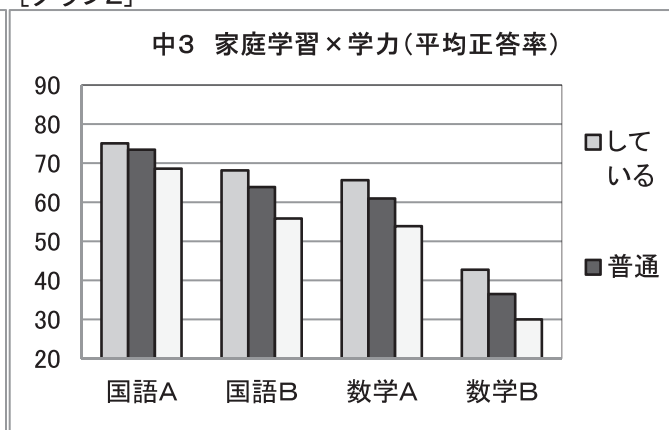
質問項目	尼崎市		全国		全国との差	
	小6	中3	小6	中3	小6	中3
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	46.6	38.3	58.9	44.5	12.3	6.2
家で、学校の宿題をしていますか	95.4	84.1	96.4	86.8	1.0	2.7
家で、学校の授業の予習をしていますか	30.5	22.3	41.3	33.5	10.8	11.2
家で、学校の授業の復習をしていますか	36.3	33.2	51.4	48.6	15.1	15.4

※「している」「どちらかといえばしている」を合計した割合

[グラフ1]



[グラフ2]



※「家庭学習」指標は、[表1]の4つの質問項目の得点(している=4点、どちらかといえばしている=3点、あまりしていない=2点、全くしていない=1点)の合計である。
家庭学習「している」「普通」「していない」は、その合計得点を3分の1になるように分割したものである。

[表2] 「家で宿題をしている」×学力(平均正答率)

家で宿題をしている(小6)	国語A	国語B	算数A	算数B	合計
している	62.8	48.8	77.6	56.6	245.9
どちらかといえばしている	53.1	36.4	69.0	44.9	203.3
あまりしていない	42.8	26.1	57.7	36.5	163.1
全くしていない	38.0	19.1	52.3	27.9	139.8

家で宿題をしている(中3)	国語A	国語B	数学A	数学B	合計
している	74.8	67.1	63.7	40.0	245.7
どちらかといえばしている	70.5	58.0	56.7	31.9	217.1
あまりしていない	67.2	55.0	53.3	28.9	204.9
全くしていない	61.5	45.3	45.1	26.1	179.4

VI 生活習慣と学力

テレビやゲームを少しがまんし、あと30分早寝・早起きをして、しっかり朝食をとることが学力の向上にもつながります。

<説明>

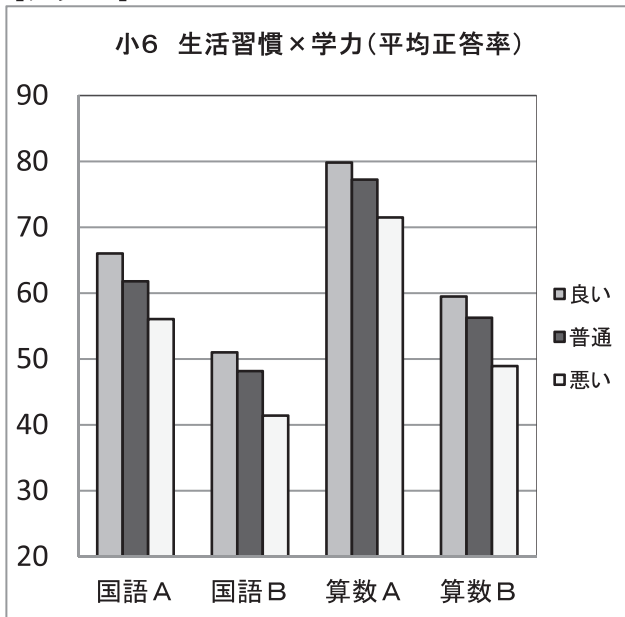
- 1 尼崎市の児童生徒の生活習慣を、全国と比較して見てみる。[表1参照]
朝食やテレビやゲームの時間は、全国と若干の差があるものの、平成19年度と比較すると改善が見られる。ただ、起床と就寝時間に関しては、尼崎市の児童生徒はかなりの「夜型生活」になっていることがわかる。
- 2 [表1]のような5つの生活習慣の違いによって、学力との関係はあるのかを調べたのが、[グラフ1]と[グラフ2]である。これを見ると、小6および中3のいずれにおいても、学力に大きな差が見られる。正答率の合計（満点は400点）でみると、実に生活習慣の「良い」と「悪い」の間には、小中学校いずれにおいても学力に40点以上の差が見られる。
- 3 学力向上には、生活習慣を改善していく必要がある。なかでも、早寝・早起きの習慣をつけるとともに、テレビを見たりゲームをする時間については、家庭での協力も得ながら改善していく必要がある。

[表1]

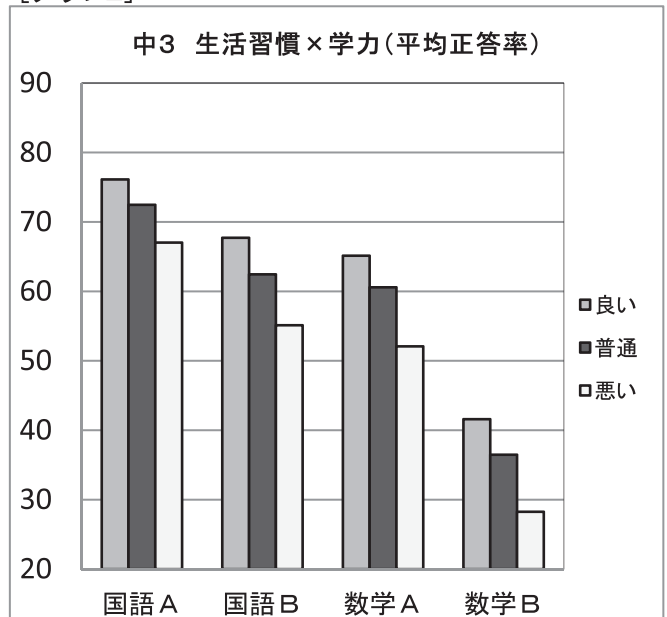
質問項目	尼崎市		全国		差	
	小6	中3	小6	中3	小6	中3
朝食を毎日食べている	84.7	80.7	88.7	84.3	4.0	3.6
普段(月～金曜日)、7時までに起きる	59.4	52.4	79.9	71.2	20.5	18.8
普段(月～金曜日)、11時までに寝る	75.3	29.7	85.2	33.9	9.9	4.2
普段(月～金曜日)、1日当たり2時間以内、テレビやビデオ等を見る	33.9	40.1	37.4	44.4	3.5	4.3
普段(月～金曜日)、1日当たり2時間以内、テレビゲーム等をする	68.0	68.1	71.7	72.4	3.7	4.3

※数値は、児童生徒の割合(%)である。

[グラフ1]



[グラフ2]



※「生活習慣」の指標は、[表1]の5つの質問項目を得点化して合計したものである。
生活習慣の「良い」「普通」「悪い」は、その合計得点を3分の1になるように分割したものである。

携帯電話やスマートフォン等の個人の所有については、学力との関連も大きいことから、その必要性を十分に考慮する必要があります。

また、持たせる場合においても、その使用におけるルールを見守りと一緒に決めて、守らせることが大切です。

<説明>

- 1 尼崎市の児童生徒の携帯電話・スマートフォン等の所持率は全国と比較して高い。そこで、携帯電話やスマートフォン等の所持及び使い方と学力の関係を見つめる。[グラフ1・グラフ2参照]
これを見ると携帯電話・スマートフォンを所持していることは、学力にあまりよい影響を与えていないことが分かる。また、所持している場合においても、使い方について家族と約束したことを守っている児童生徒は、守っていない児童生徒に比べて正答率が高い。
- 2 携帯電話やスマートフォン等を持たせる場合は、家庭において使用におけるルールを見守りと一緒に決めて守らせることが、良好な学習環境を保つ上で重要である。

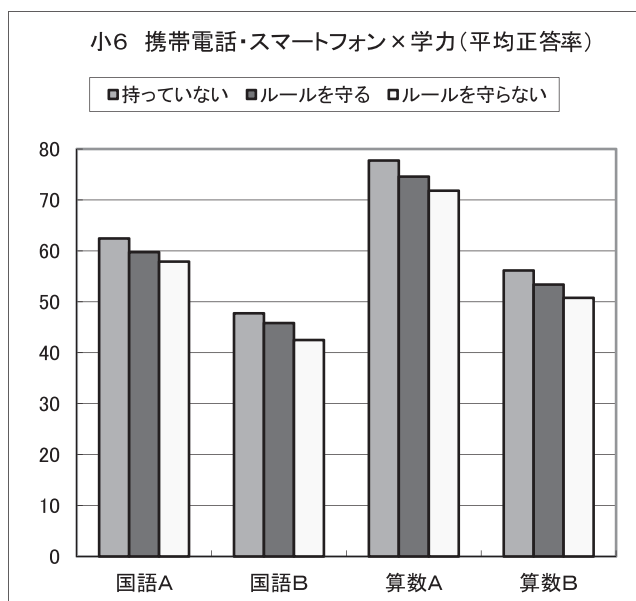
[表1]

質問項目	選択肢	小6			中3		
		尼崎市	全国	差	尼崎市	全国	差
携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	ルールを守る	44.8	39.8	5.0	57.2	47.6	9.6
	ルールを守らない	8.5	6.2	2.3	22.0	16.9	5.1
	持っていない	46.5	53.9	-7.4	20.6	35.3	-14.7

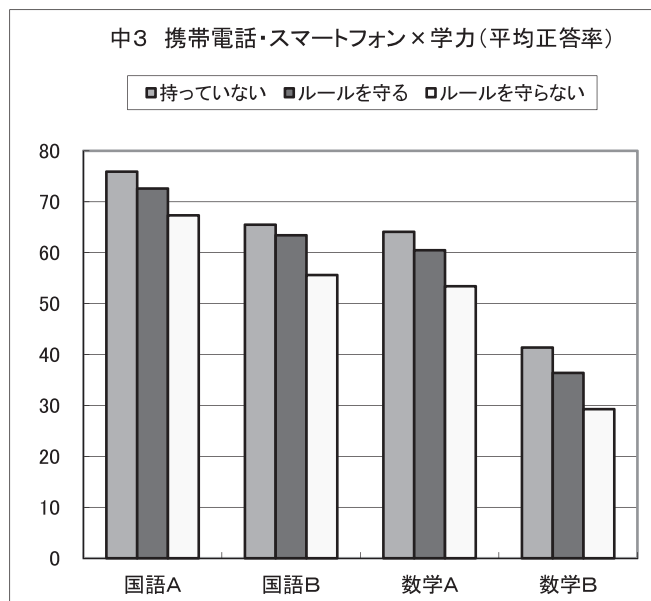
※「ルールを守る」の指標は、「きちんと守っている」「だいたい守っている」の合計の割合である。

※「ルールを守らない」の指標は、「あまり守っていない」「守っていない、または、約束はない」の合計の割合である。

[グラフ1]



[グラフ2]



Ⅶ まとめと今後の取組について

[調査結果の主な傾向や課題]

「平成25年度全国学力・学習状況調査」の結果から、主に次のような傾向や課題が見られた。

<児童生徒の学力の実態>

尼崎市の児童生徒の学力の実態は、平均正答率において調査が始まった平成19年度から順調な改善が見られ、ほぼ全国平均に近くなってきている。

小学校においては、平成19年度より国語・算数のA・B両問題で全国の平均正答率との差が5%以内を推移しており、全体的には良好な状況の中で更なる改善が進んでいると考えられる。

中学校においては、調査開始当初は国語B及び数学A・Bの平均正答率が全国より10%以上下回り、早急な改善策が求められる状況であった。しかし、平成25年度の結果では、全ての教科で全国の平均正答率まで4～6%の位置まで改善が見られ、6年間に及ぶ継続した学力向上の取組の成果を見ることができた。

また、小学校・中学校ともに「知識」に関する問題（A）よりも「活用」に関する問題（B）の正答率が低く、今後の課題となっている。

<授業における工夫改善の重要性>

授業における工夫の有無により、学力に差が生じることがわかった。「自分の考えを発表する」など児童生徒が主体的に参加する授業や「めあて」を明確にして何を学ぶのか目的意識のある授業の実践が大切である。また、児童生徒に活用型の学力を身につけさせるためには、国語においては「話し合ったり、書いたり」「発表の仕方を工夫」「理由を考える」などを、算数・数学においても「いろいろな方法を考える」「公式などのわけを理解する」「考え方をノートに書く」など、より一層の授業改善が求められている。

<家庭学習の傾向>

児童生徒の家庭における学習の傾向として、家で宿題をする児童生徒は、小学校6年生で95.4%、中学校3年生で84.1%となっており、一定程度の定着が図られている。

一方、家で予習をしたり復習をしたりする児童生徒の割合は低く、与えられた課題に限った学習のみを行う傾向がある。

これらのことから、与えられた課題を学習することは定着が図られてきているので、今後は、家庭における自主的・自発的な学習を充実させることが課題となる。

<児童生徒の生活習慣や学習環境等に関する実態>

朝食を毎日食べている児童生徒は、「食べている」「どちらかと言えば食べている」を合わせて小学校6年生では94.7%、中学校3年生では90.8%となっており、良い習慣として根付いてきている。しかし、尼崎市の児童生徒には「夜型の生活」の傾向があり、特に中学校3年生では朝7時までに起きる生徒は52.4%、11時までに寝る生徒は29.7%となっている。テレビやビデオ・DVDの視聴等も全国と比べてやや長くなる傾向が見られる。あと少しの早寝・早起を意識して、テレビ等を見る時間を少しがまんして、学習に取り組むことが大切である。

また、携帯電話・スマートフォンについては、全国平均と比較して所持率が高いことから、それらの使用について家庭でルールを決め、それを守らせることが大切である。

[今後の取組の方向]

「平成25年度全国学力・学習状況調査」の結果から、今後は次のような取組が必要であると考えられる。

<学校では>

- 学力調査の結果から見られた各教科の領域や授業改善等についての課題を分析するとともに、尼崎市・全国との状況も勘案しながら自校の課題を把握していく必要がある。それらの課題解決の方法を「学力向上アクションプラン」において計画し、「学力向上クリエイト事業」を効果的に活用するなど、P D C Aサイクルを確立する必要がある。
- 各教科の分析結果から、学習定着度に課題が見られる内容を中心に、その単元等における授業や指導計画を見直していく。また、課題を学校や学年、教科部会等で共有し、検討するとともに、授業研究等を通じてわかる授業、個に応じた指導などの授業改善に努めていく必要がある。
- 家庭での学習習慣の定着のために宿題の量や出し方を工夫するとともに、さらに宿題以外の予習・復習などへの取組を充実させていく必要がある。今後は、予習や復習の仕方など具体的な内容や方法を、児童生徒や保護者にも明らかにしながら進めていく必要がある。
- 規則正しい生活習慣の確立は、学力向上に重要な要素であり、それらの確立を促すような取組を図らなければならない。

<家庭では>

- 家庭における学習が宿題のみに終わっている場合が多く、予習・復習をしている児童生徒は全体の約3分の1となっている。これは学校の課題のみではなく、学校と家庭が協力して改善を図っていくことが必要である。また、学校が「学力向上クリエイト事業」を活用して行っている補習等に積極的に参加を促し、その中で予習や復習の仕方を学んでいくことが大切である。
- 読書の充実や学習習慣の改善に向けた生活時間の見直しを行うよう、学校と家庭が協力して取り組むことが大切である。
- 学力との関連が大きいテレビ・DVDの視聴時間、携帯電話・スマートフォン等の使用時間や利用方法については、学校と家庭とが連携をしてルールづくりを行うことが大切である。

<教育委員会では>

- 取組を活性化させるために各学校における「学力向上アクションプラン」を周知し、各学校の取組を共有するとともに、取組の進捗状況を把握し、必要に応じ指導・助言を行う。
- 学力向上をさらに推進させるために、「学力向上クリエイト事業」を充実させて、「基礎基本の徹底」とともに「活用する力」をより一層育てていく必要がある。そのために、各学校において授業改善を図るための研究や主体的に学ぶ機会を充実させるなど、子どもたちに「活用する力」を育てるための支援策を整える必要がある。
- 家庭における学習時間や学習内容の充実を図るための取組と、学年の進行とともに見られる学校の授業以外で学習する時間が低下する傾向を改善するために、学習の習慣化を図るための方策を支援しなければならない。
- 携帯電話・スマートフォン等の学力への影響の啓発とルールを守った使い方を周知し、良好な学習習慣の定着に向けた取組をサポートしなければならない。